

シグマ研究委員会・核構造・崩壊核データ専門部会
燃料サイクル核データワーキンググループ第5回会合議事録

日 時 : 昭和55年5月29日(木) 13:30-17:30

場 所 : 原研本部第6会議室

出席者 : 久武, 西堀(長部代理), 猪川, 田村, 湯本(小泉代理), 高橋,
西村, 梅沢, 小山(講師), 山野(講師), 中山(オブザーバー) 以上11名

欠席者 : 関口, 住田, 松浦, 荒木, 佐藤, 松田, 桂川, 黒井

配布資料 :

5-1 "JAERI-M8310 抜粋" 小山

5-2 "遮蔽解析における線源評価の問題点" 山野

議 題

- (1) 本年度活動方針
- (2) アクチニド生成量の解析と核データの問題, 小山
- (3) 遮蔽解析における線源評価の問題点, 山野
- (4) その他

議 事

1. 前年度まで4回の会合において行なった検討作業の進捗状況をレビューし本年度の方針と目標を定めた。

本年度は、残された問題として使用済燃料の遮蔽、再処理、プルトニウム加工工程、燃料の照射後試験、燃料サイクルフロントエンドなどの諸分野について問題点を調査した後、核データの種類、要求の内容に応じた整理を試みる。さらにこの結果に基づいて提言をまとめ、本年度をもって本WGの活動にひとまず区切りをつけることとなった。

2. 小山氏（原研）より，資料 5 - 1 によってアクチニド生成量の解析に必要な核データについて説明があり，問題点が討論された。
3. 資料 5 - 2 により，山野氏（原研）から遮蔽解析における線源の評価に際して必要な核データと，現状の問題点について説明があった。
4. 次回予定 7月17日
プルトニウム取扱施設における核データの問題など。

以 上